

令和5年度 学校評価

向陵高等学校

学校教育目標	1 自発的学習態度を育成する 2 健全な心身の発達を目指す 3 知性を高め敬愛の精神を高める 4 創造力を養い個性の伸長に努める 5 誠意をもって責任を果たす態度を養う
	校長の教育方針 1 基本的な生活習慣を身につけた生徒を育てる 2 自己の学力の向上に努める生徒を育てる 3 教科の勉強以外に打ち込めるものを見つけ、取り組む生徒を育てる 4 「思いやりの心」と「感謝の気持ち」を持つ生徒を育てる 5 本校独自の「チャレンジ講座」や「人間学」を通して未知なるものへの興味を広げ、豊かな感性を育む生徒を育てる
現状と課題	1 素直で人懐こいが、集団生活に悩む生徒がいる。 2 挨拶や返事が苦手な生徒がやや多い。 3 細部まで気を配り、行き届いた清掃ができる生徒はそれほど多くはない。 4 身だしなみや清潔感に気を配る意識が不十分な生徒がいる。
重点目標	1 基本的な生活習慣を身につける 2 掃除の徹底 3 元気な挨拶 4 コミュニケーション能力の向上

自己評価実施日	令和6年2月16日
学校関係者評価実施日	令和6年2月16日

学校関係者評価委員会の構成	PTA役員
---------------	-------

達成度	A	ほぼ達成	80%以上
	B	概ね達成	60%以上
	C	やや不十分	40%以上
	D	不十分	40%未満

自己評価				学校関係者評価		総括	
番号	評価項目	具体的方策	目標の達成状況	達成度	学校関係者からの意見・要望・評価等	次年度への課題と改善策	
1	遅刻をしない	時間を守ることの意味や大切さを継続して説明し理解を促していく。具体的にとるべき行動を提示し遅刻の未然防止に努める。遅刻をする生徒に関しては家庭と連絡を取り合い対処法を面談等で話し合う。授業の後で後片付けや次の時間の準備を徹底するよう指導していく。休み時間の巡回等を必要に応じて行う。	大体の生徒は登校時間を守っているが一部の生徒に遅刻が見られ、なかなか改善できず繰り返すことあった。チャイムが鳴ってから授業準備をしたり席に着く生徒がいた。移動教室の際に授業開始に遅れる生徒も見られ、教員が巡回することもあった。	B	遅刻しないよう意識していた/ 学期を追うごとに時間を守る大切さが身についているように思う/ 8時30分の登校時間に間に合わない場所で急ぐ訳でもなく歩いてくる生徒がいて残念だ/ 時間を守る必要性の十分な理解が、社会人になる上での基本的な心得だと思う/	何度も声がけをしたり、その都度注意を促し、授業の準備や時間厳守を徹底させる。準備が良くない生徒は個別に呼んで指導して理解を促していく。生活習慣について、家庭とも連携し協力をお願いする。	
	さわやかな身だしなみ	服装指導を朝・帰りのHR、授業前に行う。見た目や清潔感に気を配る意識を持たせ、指導が必要な生徒には本人や保護者と話し合い理解を得ながら改善していく。家を出る前のセルフチェックを家庭にもお願いしていく。進路指導や保健指導、家庭科の授業も活用し身だしなみを整える意味の理解を深めていく。	大幅に着崩す生徒はいないがネクタイやリボンの着け方がゆるい、第一ボタンをはずす、スカートが短い、靴のかかとを踏む生徒が見られた。ワイシャツの襟、袖口やズボンが汚れているなど清潔感に欠ける生徒がいた。注意すると直すのが繰り返す生徒も一部いた。	B	校外で服装が乱れた生徒を見かけた記憶がなく日々の成果を感じない/ 皆きちんと制服を着て帰宅していると思う/ 文化祭の時、ズボンの内側の縫い目が破けている生徒がいた/ 爽やかな向陵生であってほしい/ 頭髪、爪など清潔に保つことで健康に気を配れるようになってほしい/	毎日の服装の点検を継続して行っていく。不十分な点があればその都度注意し直してもらおう。身だしなみを整えることの大切さを、進路指導や保健指導、服育講座、家庭科の授業等を活用して意識づけていく。家庭とも連携し保護者の協力を仰ぐ。	
	安心・安全な学校生活	全教員・スクールカウンセラー間で生徒の情報共有し、組織的支援体制をつくり、話し合う場を設けて即応する。本人や家庭とコミュニケーションをとりながら生徒の特性・事情に応じて指導していく。生徒が相談しやすい環境にするため、いじめアンケートや観察シートを活用する。必要に応じてチームティーチング(TT)等を行う。	生徒が不安や悩みなどを教員に相談しやすいよう環境づくりに配慮した。学年会議や全体の会議等で情報を共有し連携した対応や対策をとった。いじめアンケートや個人面談等を通じて生徒の状況を把握した。生徒を観察し小さなことでも家庭と連絡を取り合った。必要に応じてTTを行った。	A	生徒が相談しやすい環境を整え、個々の特性や事情に応じた指導がされていると思う/ 何かあれば先生が連絡してくれて助かった/ 子供に学校生活はどうか聞くといつも楽しいと話していた/ 誰かを排除することなく互いに認め合い受け入れることが当たり前に実践できるようになることを願います/	今後も普段の学校生活や面談等において生徒とコミュニケーションを積極的にとり、休み時間や放課後の様子を観察して、生徒の実態を把握していく。教員・カウンセラー間で連携しチームで対応していく。生徒同士思いやりを持って行動するよう声掛けし指導していく。	
2	きれいな校舎	掃除の時間は教員がつき細部まで行き届いた清掃を指導する。委員会を活用し掃除の仕方等の説明を工夫して行う。使う人の気持ちを考え丁寧な掃除を習慣化する。時間を意識し時間内に終わらせる。責任・協働・奉仕・忍耐の心を育てる。クリーンアップ作戦を確実に実行し地域への奉仕意識を高める。	掃除を真面目に丁寧にを行い、早く終わったら手伝う生徒がいるものの、きれいにする意識が低かったり、教員がつかないと怠りがちな生徒も見受けられた。場所によっては埃やクモの巣があったりして細部まで行き届いていない箇所があった。	C	掃除をしっかりとおり校舎は綺麗である/ 全体的に綺麗にしようとする心がけが感じられた/ 丁寧さも大切だが掃除の手順や要領よく行う指導にも力を入れてほしい/ 石鹸・消毒ボットの汚れや教室隅のクモの巣にも注意した方がいい/ 向陵祭準備で行った際、さぼる生徒も見られた/	環境整備委員会と連携して各区域ごとの掃除の仕方を説明したり清掃用具の整理整頓を心がけさせる。担当教員が道具の使い方や掃除の仕方、働く姿勢など手本を示しながら教え指導していく。細部にまで目を向ける意識、時間の意識を持たせる。	
3	元気な挨拶	学校全体として笑顔で爽やかな心を込めた挨拶をする雰囲気や教職員・生徒一緒につくっていく。HRや授業、集会、職員室の出入り等の場面で辞儀等の作法も含めて指導し、進路を意識した生活を心がける。生活向上委員会・PTAの挨拶運動を有効活用する。お客様来校の際はさらに積極的に挨拶する。	自発的に挨拶するのが苦手な生徒が多いが、サッカー部の生徒が誰にでも元気に挨拶をし良い見本となっている。HRや授業の挨拶では元気な生徒に紛れてきちんとやらない生徒がおり進路指導も兼ねて指導した。職員室出入り時の挨拶が徹底していなかった。	C	元気な挨拶を多く耳にした。その都度こちらも元気をもらえたような気がする/ 大体の生徒は元気に挨拶をしてくれている。うれしく思う/ 全体的にまだ暗く下を向きがち印象/ 笑顔で積極的に元気に挨拶出来るのが学力向上、健康増進につながるのではないかと/	生徒も教職員も挨拶の大切さを意識して学校全体として取り組んでいく。教職員側からも積極的に挨拶・声掛けをする。声を出すのが苦手な生徒には、まず会釈やお辞儀の動作ができるよう指導していく。進路活動との関係も意識し生活していく。	